

高松港の現場を取材 ～ 鋼管杭打設の迫力を体感 ～

訪れた現場

◆高松港朝日地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

- ・発注者 高松港湾・空港整備事務所
- ・受注者 東亜建設工業株式会社
- ・オフィシャル広報パートナー
mimika さん・United Archers まりかさん



それでは早速、**現場へ行こう!**



まりかさん

mimikaさん



／まずは名刺交換／

オフィシャル広報パートナーのみなさん
実はオフィシャル広報パートナーとしての名刺をお持ちです！



取材をお受けいただくみなさんと名刺交換中です。
名刺には、同じくオフィシャル広報パートナーの
芋工場林さんが描かれたオリジナルしこくくんが！？

◆現場の前に・・・まずはお勉強から。

高松港湾・空港整備事務所の竹田課長から海上輸送の役割、港の役割を聞く



東亜建設工業(株)丸尾さんから現場情報のデジタル化の状況、工事の状況などを予習



◆準備体操！？

mimikaさん作詞作曲「未来の地図」に合わせて、まりかさん振り付けのダンスで準備体操。

実は事務局より職員、受注者のみなさんにプロモーションビデオ作成のためダンス※撮影をお願いしておりました。



※ #踊る四国地整（四国地方整備局公式YouTubeチャンネル）
<https://www.youtube.com/watch?v=2I6lyAqpX4E>



ダンス撮影が終わりホッとして記念撮影。



◆現場を間近で！

いよいよ鋼管杭打設の迫力をかぶりつき特等席で体感



■オフィシャルパートナーが聞く

発注者、受注者の技術者に、建設業の魅力、就職のきっかけや職場の雰囲気を知る。



『女子トーク』で大盛り上がり！



◆取材を終えて

・オフィシャル広報パートナーより

- ・迫力も、最先端の技術も、職人さんの技術も詰め込まれていて、目の前でそれを体感できるという贅沢な時間でした。杭を打ち込む時のカッコいい音を是非現場へ行って体験してもらいたい。
- ・女性の技術者さんがすごくキラキラしていたのが印象的。きっと素敵な環境でお仕事されているんだなと思いました。
- ・キュートにダンスを踊ってくださった時と現場で働かれている時のギャップを是非見てほしい。

・東亜建設工業(株)さんより

- ・建設業界で働く人々が、実際にどのような仕事をしているのか。どのような思いで働いているのかを実感していただけたと感じています。
- ・3Kというイメージがまだ残っている建設業界ですが、女性でも活躍できるということがアピールできたと思います。

・高松港湾・空港整備事務所より

- ・パートナーさんと楽しく過ごすことができ、職員にとって良い経験、思い出になりました。
- ・みんなで踊ったダンスにより、仕事にプロフェッショナルな元請さん、船員さんの普段とは違う一面を垣間見ました！やる気、元気の源につながり、時には、朝礼のラジオ体操の代わりにダンスが効果的ですね。（作業船のオペさんがmimikaさんのファンだったとは!?)



取材の様子は四国地方整備局公式YouTubeチャンネルに掲載予定です！

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLBhrhRmRfl6kENSQu6bUrZk0mSk5f7LaU>

